

## 第2章 施策・事業の運営状況

京都府では、知事部局・教育委員会・警察本部の部長等が、担当する職務に関し、特にその年度に重点的に取り組む目標を設定し、挑戦する運営目標のしくみをつくっている。

本章では、2012年度の運営目標の達成状況等をもとに、「明日の京都」の実現に向けた施策・事業の運営状況について点検を行い、今後の課題を明らかにする。

### 1 2012年度運営目標の達成状況と問題点

2012年度は、17部局（知事部局、教育委員会、警察本部）で計394項目の運営目標を設定し、そのうち目標を達成したものは359項目（91%）、未達成に終わったものは35項目（9%）であった。未達成に終わった項目については、その原因・要因について十分に検証し、今後の施策・事業の運営に活かしていく必要がある。

以下に、2011年10月版ベンチマークレポート＜「明日の京都」実施状況報告書＞において重点課題とした事項に関連する運営目標について、達成・未達成の事例と未達成の要因を示す。

#### 【府民安心の再構築】

##### (1) 子育て・子育ての安心

(重点課題) 少年非行を生まない社会づくり

###### ○達成事例

- ・ 刑法犯少年の検挙（人口比）

＜目標＞ 全国ワーストワンの脱却 → ＜実績＞ 全国ワースト5位

- ・ 刑法犯検挙少年の再犯者数

＜目標＞ 2011年比5%減少 → ＜実績＞ 2011年比17.5%減少

##### (2) 学びの安心

(重点課題) 子どもの学習意欲の喚起、つまづきのサポート

###### ○達成事例

- ・ 大学の研究者等から最先端授業を受ける出前学習の実施

＜目標＞ 150回実施 → ＜実績＞ 224回実施

- ・ 中学1年生の振り返り集中学習（ふりスタ）の実施

＜目標＞ 全中学校で実施 → ＜実績＞ 全中学校で実施

(重点課題) 新しい公共の時代を支える生涯学習社会への転換

###### ○達成事例

- ・ 生涯学習拠点「府立ゼミナールハウス」での生涯学習事業の実施

＜目標＞ 総利用者3万人 → ＜実績＞ 3.2万人

＜目標＞ インターネット生涯学習講座受講4,000件 → ＜実績＞ 7,273件

### (3) 働きの安心

(重点課題) ニーズの的確な把握等による労働需給のミスマッチ解消

#### ○達成事例

- ・ 京都ジョブパークにおいて国・京都府が一体的に行う就業支援

<目標> 延べ相談者100,000人 → <実績> 100,277人

<目標> 就職内定者 5,600人 → <実績> 7,037人

#### ○未達成事例

- ・ 就労自立支援プラットフォーム「きょうと生活・就労おうえん団」のネットワーク拡大

<目標> 登録団体・企業200社 → <実績> 143社

<要因> 景気の不透明感が払拭されず、雇用情勢の回復が遅れているため

(重点課題) 障害者の能力と仕事のマッチング等による所得の向上

#### ○達成事例

- ・ 「障害者就業・生活支援センター」等での就業支援

<目標> 新規来所者 250人 → <実績> 341人

<目標> 就職内定者 170人 → <実績> 182人

### (4) 医療・福祉の安心

(重点課題) 若年層も含めた疾病予防

#### ○達成事例

- ・ 生活習慣病である高血圧症の予防事業を実施し、血圧等を改善する

<目標> 7保健所で実施 → <実績> 7保健所

<目標> 改善率50% → <実績> 収縮期(最高)血圧改善率60.3%

- ・ 疾病の前兆を早期に発見するための特定健診の受診啓発の推進

<目標> マスメディア・広報誌での啓発200回 → <実績> 328回

<目標> 拠点100箇所での啓発 → <実績> 118箇所

#### ○未達成事例

- ・ こどもの健康管理に活かす「こども健康情報管理システム(仮称)」の構築・運用実験

<目標> システム構築、運用実験の実施 → <実績> 運用実験未実施

<要因> システム構築に当たり個人情報等の取扱い等の調整に時間を要したため

(重点課題) 医療従事者の確保、ネットワークの拡充

#### ○達成事例

- ・ 京都府地域医療支援センターの京都大学ブランチを設置し、セミナーを開催

<目標> 京都大学ブランチの設置 → <実績> 2012年4月設置

<目標> 医師向けセミナーを開催 → <実績> 開催2回、参加者73名

- ・ 地域医療や研修に関する情報を配信するメールマガジンの配信登録医師・医学生数

<目標> 100人 → <実績> 127人

#### ○未達成事例

- ・ 参加型・実体験型の地域医療実習に参加する医学生・看護学生数

<目標> 150名 → <実績> 118名(医学生89名、看護学生29名)

<要因> 対象となる医学生(医学部5回生)が、留年等により減少したため

## (5) 長寿の安心

(重点課題) 多様な観点からの介護予防、高齢者が自らの意思で生活の場を選択できる環境づくり

### ○達成事例

- ・在宅医療を担うかかりつけ医のリーダー養成数  
＜目標＞ 30人 → ＜実績＞ 47人
- ・新たに介護施設等で介護サービスの提供に携わる職員の数（累計）  
＜目標＞ 2,000人 → ＜実績＞ 2,120人

### ○未達成事例

- ・在宅療養中の高齢者が体調不良時に安心して入院できる病院を事前登録する「在宅療養あんしん病院登録システム」への登録者数（累計）  
＜目標＞ 10,000人 → ＜実績＞ 5,967人  
＜要因＞ 府民への周知不足のため

## (6) 暮らしの安心

(重点課題) 地域社会の総力を結集した犯罪の抑止

### ○達成事例

- ・警察と地域が一体となって防犯活動を行う「府民協働防犯ステーション」の設置  
＜目標＞ 設置交番・駐在所260箇所 → ＜実績＞ 285箇所  
＜目標＞ 参加団体 1,500団体 → ＜実績＞ 1,551団体
- ・刑法犯認知件数（年間）  
＜目標＞ 前年比5%減少 → ＜実績＞ 前年比13.1%減少

(重点課題) 地域の実情を踏まえた自殺原因の究明

### ○達成事例

- ・自殺防止対策プロジェクトチームの設置  
＜目標＞ 設置 → ＜実績＞ 2012年7月設置
- ・自死・自殺のサインに気づく「ゲートキーパー」の養成  
＜目標＞ 3,000人 → ＜実績＞ 5,993人
- ・弱音を吐ける（相談対応を行う）「居場所カフェ」の設置  
＜目標＞ 5箇所 → ＜実績＞ 6箇所

## 【地域共生の実現】

### (1) 人権尊重

(重点課題) 人権相談しやすい環境づくり

### ○達成事例

- ・府民が人権問題・人権侵害に直面した際に相談・対応を行う機関の連携体制の充実  
＜目標＞ 相談機関の連携体制の充実  
→ ＜実績＞ 人権擁護・相談機関の連携体制の充実

＜目標＞ 府民への周知（リーフレット配布10,000部他）  
→ ＜実績＞ 関係機関一覧の配布12,000部

## （2）地域力再生

（重点課題）NPO等の経営基盤の強化

### ○達成事例

- ・市町村未来づくり交付金（地域力再生交付金）による地域力再生活動の支援  
＜目標＞ NPO法人の活動事業費130億円 → ＜実績＞ 149億円  
＜目標＞ 交付金活動による事業実施520団体 → ＜実績＞ 522団体

### ○未達成事例

- ・認定NPO法人、条例で指定されたNPO法人、京都地域創造基金の事業指定寄付プログラム登録団体数  
＜目標＞ 80団体 → ＜実績＞ 60団体  
＜要因＞ 認定・条例指定には、2年間に亘り基準に適合する必要があるが、この期間に財務諸表未作成、他団体役員兼務など基準不適合例が多かったため

## （3）新たなコミュニティづくり

（重点課題）商店街への消費者回帰

### ○達成事例

- ・補助対象商店街のうち来街者増、空き店舗減、売上げ増などの成果があった割合  
＜目標＞ 50% → ＜実績＞ 60%
- ・子育てサロンや買い物サポート等の地域連携活動、防犯カメラ設置など安心・安全施設整備など魅力ある商店街づくりの取組事例数  
＜目標＞ 60事例 → ＜実績＞ 62事例

## （4）男女共同参画

（重点課題）潜在的なドメスティック・バイオレンス事案への対応

### ○達成事例

- ・ドメスティック・バイオレンス被害者の自立生活を支援する地域生活サポーターの養成・登録数  
＜目標＞ 15名 → ＜実績＞ 21名
- ・配偶者等からの暴力をなくす啓発期間（11/12～25）に連携して啓発活動を行った協賛団体数  
＜目標＞ 150団体 → ＜実績＞ 154団体

（重点課題）意欲に応じて女性が就業できる環境づくり

### ○達成事例

- ・マザーズジョブカフェにおいて子育て期の女性の就業・保育をワンストップで支援  
＜目標＞ 来所者12,000人 → ＜実績＞ 21,243人  
＜目標＞ 就職率40% → ＜実績＞ 就職率47%
- ・ワーク・ライフ・バランスの取組を進める企業数  
＜目標＞ 推進宣言企業250社 → ＜実績＞ 推進宣言企業403社  
＜目標＞ 認証取得企業40社 → ＜実績＞ 認証取得企業43社

## (5) ふるさと定住

(重点課題) 里力再生のための戦略的な農山漁村への定住・移住・交流促進

### ○達成事例

- ・ 過疎・高齢化が進む集落を含む複数集落とNPOや団体、企業等が連携して地域の再生活動に取り組む地域連携組織の設立数  
    <目標> 10組織(累計35組織) → <実績> 13組織(累計38組織)
- ・ 里の仕事人等の人的支援、地域連携組織の活動などにより農山村再生に繋がる地域ビジネスの創出  
    <目標> 5事業 → <実績> 6事業
- ・ 地域連携組織が行う地域活性化や絆の再生に向けた祭りの復活や都市との交流イベント等の取組数  
    <目標> 140回 → <実績> 172回

### ○未達成事例

- ・ 京の田舎ぐらし・ふるさとセンターや田舎ぐらしナビゲーター等により農山漁村へ移住した都市住民の数  
    <目標> 40人 → <実績> 17人  
    <要因> 田舎ぐらし相談件数は増加傾向にあるが、厳しい経済状況の中、移住先での雇用・収入確保への不安などから移住者増に繋がらなかった

## 【京都力の発揮】

### (1) 人づくり

(重点課題) 若年層をはじめ意欲ある多様な農林水産業の担い手確保

### ○達成事例

- ・ 新規就農・就業者数  
    <目標> 120名 → <実績> 152名
- ・ 漁業における新規就業者数  
    <目標> 35名 → <実績> 40名

### ○未達成事例

- ・ 林業における新規就業者数  
    <目標> 55名 → <実績> 36名  
    <要因> 相談件数は前年度より多かったが、大幅な木材価格の下落により生産活動を縮小した事業者が多く、民間会社の雇用が大幅に減少したため

### (2) 環境の「みやこ」

(重点課題) 府民のライフスタイルの転換につながる太陽光発電設備・電気自動車の普及

### ○達成事例

- ・ 家庭用太陽光発電施設の設置件数  
    <目標> 20,000戸 → <実績> 21,500戸

- ・次世代型住宅（スマート・エコハウス）低利融資の件数  
     <目標> 100件以上 → <実績> 179件
- ・官・民が提供する環境家計簿の利用家庭数  
     <目標> 88,000世帯以上 → <実績> 89,921世帯

### (3) 文化創造

(重点課題) 国民文化祭の成果等を活かした日本の文化首都づくり

#### ○達成事例

- ・京都文化博物館で開催する「京都府美術工芸新鋭展 京都美術ビエンナーレ」の入場者数  
     <目標> 10,000人 → <実績> 16,732人
- ・京都文化博物館で開催する「こころの京都百選」展の入場者数  
     <目標> 30,000人 → <実績> 31,455人
- ・京都府立文化芸術会館の総入場者数  
     <目標> 16万人 → <実績> 17.4万人
- ・京都府立府民ホールの総入場者数  
     <目標> 6.1万人 → <実績> 6.7万人
- ・京都府立堂本印象美術館の総入場者数  
     <目標> 1.2万人 → <実績> 1.5万人

### (4) 産業革新・中小企業育成

(重点課題) 活用可能な資源の状況等を踏まえた地域産業・雇用創出

#### ○達成事例

- ・府内倒産件数  
     <目標> 394件以下 → <実績> 366件
- ・総合的就業支援や戦略的な企業立地等による新たな雇用の創出  
     <目標> 新規雇用16,000人  
     → <実績> 新規雇用16,000～17,500人（3月末見込み）
- ・有効求人倍率  
     <目標> 0.85倍 → <実績> 0.85倍
- ・正社員有効求人倍率  
     <目標> 0.60倍 → <実績> 0.62倍
- ・舞鶴港取扱量  
     <目標> H23年度比5%アップ → <実績> H23年度比9.8%アップ

#### ○未達成事例

- ・企業立地件数  
     <目標> 40件 → <実績> 30件  
     <要因> 過年度までの円高の影響による設備投資意欲の低下のため

(重点課題) 京都の知的資源を活かした中小企業の研究開発の促進

○達成事例

- ・ 中小企業ステップアップ事業による支援件数  
    <目標> 1,000件 → <実績> 2,082件
- ・ 支援を通じた京都発の新技术、新製品開発の件数  
    <目標> 15件 → <実績> 18件
- ・ 環境関連の研究プロジェクトやエコ課題に対する助成件数  
    <目標> 8件 → <実績> 9件
- ・ 環境関連研究プロジェクトやエコ課題への助成のうち研究成果等の実用化件数  
    <目標> 7件 → <実績> 8件

(重点課題) 他分野との連携など多様な観点からの農林水産物のブランド化

○達成事例

- ・ 農産物や加工品等の年間販売額が1億円を超える農業法人等数  
    <目標> 45経営体 → <実績> 47経営体
- ・ きょうと農商工連携応援ファンドに取り組む事業者数  
    <目標> 13連携体 → <実績> 14連携体
- ・ 輸出に向けて取り組んだ経営体数  
    <目標> 35経営体 → <実績> 49経営体
- ・ 食品関連企業等の農業参入・誘致数  
    <目標> 3経営体 → <実績> 6経営体

(5) 交流連帯

(重点課題) 新しい経営戦略の推進による公共交通機関の活性化

○未達成事例

- ・ 北近畿タンゴ鉄道(KTR)の年間利用者数  
    <目標> 210万人 → <実績> 187万人  
    <要因> 高速道路網整備の進展に伴う自家用車による観光客の入り込みや、沿線人口減少による定期利用の減少等が原因と考えられる

(重点課題) スマールメディア等を活用した京都情報の戦略的発信

○達成事例

- ・ ツイッターなどITを活用した府民や観光客参加型の京都観光情報の発信  
    <目標> 100件 → <実績> 114件
- ・ You Tubeを活用した京都の魅力を伝える動画情報の発信  
    <目標> — (数値目標なし) → <実績> 63本の動画配信

## 2 運営目標に係る今後の留意事項

### (1) 目標の設定

2012年度の施策・事業運営の問題点を踏まえた上、2013年度の運営目標の設定に際して特に留意した点を以下に示す。

○「明日の京都」中期計画・地域振興計画、府民満足最大化プランに掲げる「基本目標」などの達成に向けた各部局等の単年度の経営戦略であること

・ベンチマークレポートに記載される「基本目標」などの達成状況を踏まえた上で、当初予算に沿った単年度の目標として設定する

○京都指標を活用するとともに、原則としてアウトカム目標を設定すること

・単にアウトプット（「何を実施したか」や事業量など）の達成だけで評価するのではなく、府民にとってのアウトカム成果（「課題が解決したか」や「どれだけ成果が得られたか」など）で評価できるよう目標を設定する

○本質的な課題を明らかにして「挑戦的な」目標を設定し、その達成手段（プロセス）を明確化すること

・目標達成のため、具体的に何をやるかについて、明確なプロセスやベンチマークを設定し、記述する

### (2) 達成状況の点検・振り返り

施策・事業完了（見込み）時に達成状況の点検・振り返りを行い、次年度の運営目標の設定に活かしていくほか、施策・事業推進中においても、常に目標達成の可否を見通し、目標達成が難しいことが判明した場合には、その原因を見極め、年度途中でも手段を見直すなど目標達成のために必要な対応を迅速に講じていくことが必要である。